



環境市民会議 VOL. 48 ちがさきエコワーク通信

編集:環境市民会議「ちがさきエコワーク」広報委員会
発行:環境市民会議「ちがさきエコワーク」
発行日:平成 27 年 10 月 30 日
事務局:茅ヶ崎市環境政策課
TEL 0467-82-1111 FAX 0467-57-8388

環境市民会議「ちがさきエコワーク」は持続可能な循環型社会の構築と茅ヶ崎市環境基本計画の効率的推進のため、市民・事業者・行政が協働で、環境の保全と創造に関する取り組みや環境意識の啓発・高揚のための活動を行なっている市民団体です。

<http://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/kankyo/shiminkaigi/index.html>

「ちがさき環境フェア 2015」を振り返って

ちがさき環境フェア 2015 企画実行委員会
委員長 青木 洋子

お天気にも恵まれ、多くの方々の協力を得たちがさき環境フェア 2015 が無事に終了しました。恒例になった中学生による「スクールエコアクション」の発表も、明るく現代の子どもらしい発想と企画力で構成され、何よりも楽しく環境活動しているだけでなく「折れない気持ちで取り組むこと」と冷静にその活動の難しさを分析していた事には感心しました。生活環境のための心がけや、自然環境保全の大切さは理解できても、その環境を維持していくことは難しいものです。子ども時代からそのことに気付き、学ぶ姿勢は大切なことだと思います。



今回は、梅田小学校の子どもたちが、「古本回収プロジェクト(FKP)～未来へつなごう～」のブースの運営を行い、その売上金を太陽光発電設備普及啓発基金と緑のまちづくり基金に寄付していただきました。このイベントは、子どもたちが体験を通してリユースの仕組みを学び資源循環システムの大切さを知ってもらうことを目的に、環境フェア企画実行委員会が梅田小学校とブックオフコーポレーション株式会社にご協力いただいて開催したものです。児童たちは、ポスターやチラシの作成、家庭への働きかけ、粗品のしおり作成等の事前準備、学校、地域での広報活動、当日のブースの運営補助等に取り組みました。

先日、市長応接室で寄付金贈呈式が行われた際に、子どもたちから取り組みの楽しさ、みんなで作り上げることの喜びや大切さなどについての話があった一方で、ブースでの市民との接遇の難しさ、自分たちの未熟な対応への反省等、素直で冷静な感想を述べられたことが印象に残っています。

社会的な背景の変化とともに環境意識が時代とともに高まり、環境フェアの企画内容も広がり、小中学生のほかいろいろな年代と多様な市民、事業者の協力によって環境フェアも充実してきているように思います。環境フェアは、市民啓発活動の一端にすぎませんが、環境まちづくりが、行政だけでなく、多様な方々によってつくり上げられていることを子どもたちや市民の方々に知っていただく機会になっていることは確かです。

環境教育が学校教育の中でももちろん行われているとは思いますが、環境フェアをはじめ、事業者活動や自然環境保全活動のフィールドへの参画等、さまざまな場に子どもたちが社会参加することによって、私たち大人が考える以上に、子どもたちがいろいろなことを吸収し、感性を働かせていることに驚きを感じます。環境フェアのスローガン「未来へつなごう！環境にやさしいまち」の精神は、確かに未来の子どもたちにつながっていると思います。

「ちがさき環境フェア 2015」開催される！！

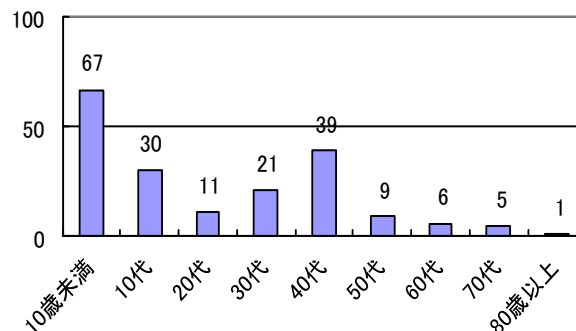
「ちがさき環境フェア 2015」は、9月20日(日)午前10時から午後4時に茅ヶ崎市役所分庁舎、本庁舎及び中央公園において開催されました。当日は、晴天に恵まれ多数の来場者があり盛況に終了しました。

今回の環境フェアとしては、分庁舎6階では最初に浜須賀中学校と鶴が台中学校によるスクールエコアクション発表が行われ、その後企業、団体、行政による展示とワークショップが始まりました。

分庁舎5階では「おもしろ環境教室」、本庁舎7階では「エコシアター」及び「水素エネルギー講演会」が実施され、また中央公園では「エコステージ」、「次世代自動車の展示・試乗会」、「古本回収」、「エコマルシェ」、「ネイチャーゲーム」などが出展実施されました。

特に梅田小学校運営委員による「古本回収プロジェクト」は、初めてのイベントでしたが大変好評でした。

来場者の年齢層別人数(アンケート回答者)



来場者アンケート「印象に残ったイベントはなんですか」回答数



来場者の感想・意見等コメント(抜粋)

【感想】

- ①いろいろ見たり体験できて楽しかった。＜多数＞
 - ・石鹸づくり、どんぐりオブジェ、忍者づくりなどの工作、その他
- ②エコについていろいろ学習できて良かった。＜多数＞
 - ・水素電池、太陽光発電、企業の取り組み、微生物見学、その他
- ③工作に時間がかかって全部回れなかった。
- ④自然を大切にしている団体のことを知れてよかった。
- ⑤良く計画されたイベントでした。

【意見】

- ①毎日の生活の中で環境のことをもっと大切に考えたい。＜多数＞
- ②開催日をもっと増やした方が良い。
- ③川をもっときれいにしたい。
- ④水道水の節約をしたい。
- ⑤茅ヶ崎の自然とエコの取組みについてもっと知りたい。
- ⑥ペットボトルがリサイクルされてどうなるのかを知りたい。
- ⑦エコマルシェにもっといろいろあると良い。

「スクールエコアクション」(学校版 EMS)

第3回発表会の概要と感想

茅ヶ崎市立 浜須賀中学校

所在地:茅ヶ崎市松が丘二丁目8番54号
在校生:1年生6学級210名、2年生7学級240名、3年生6学級214名
特別支援級15名 計679名

■環境活動の概要

浜須賀中学校では、①緑のカーテン ②浜池ビオトープ ③節電④節水⑤古紙の再利用 ⑥エコキャップ回収など、生徒会とボランティア生徒を中心に環境活動に取り組んでいます。緑のカーテンでは、ゴーヤ以外に蔓植物の中でも葉が大きく、更に実を食べることができる「パッションフルーツ」の栽培に挑戦しました。種ごと食べることでできる紫の果実と、青々と茂る葉は理科室の日除けとなりました。植物への水やりには、雨水タンクの貯水を利用することで節水にも繋がりました。浜池ビオトープは、自然の水草や水生植物とプランクトン、小さな魚に昆虫の幼虫、昆虫などが、一つながりの生態系、また食物連鎖を維持していること、そこから自然環境の成り立ちとそのシステムを学ぶことができます。海や川にゴミを捨てない呼びかけや、環境との取り組み方を考えるきっかけにもなっています。



■発表を終えての感想

発表の準備をする中で、環境に対する生徒たちの意識を高めることができました。自分たちの手で育てる緑のカーテンが、日に日に成長していく様子に喜びを感じ、節電・節水のシールを作り校舎の各所に貼る活動から学校全体の水道料金が削減できたことなど、地道な活動を通して結果に繋がりました。今後も「折れない心」の精神を大切に、学校全体で環境活動に取り組んでいきたいと思えます。(記事提供:堀内 由美)

茅ヶ崎市立 鶴が台中学校

所在地:茅ヶ崎市鶴が台2番7号
在校生:1年生4学級153名、2年生4学級142名、3年生4学級155名
計450名

■環境活動の概要

鶴が台中学校生徒会は、日常的に環境活動に取り組んでいます。エコキャップの回収においては、地域の方々にも協力していただき、4月からの前期半年で、150人分のワクチンに相当する寄付ができました。校舎回りや地域の清掃も年に3回実施しており、毎回、多くの生徒がボランティアに名乗り出て精力的に活動に参加しています。



また、月々の使用電力量をグラフにして掲示し、全校生徒に節電を呼びかける活動もしています。緑のカーテン作りにおいては、毎年、梅雨入り前に苗を植えるボランティアを、また夏休み期間中には、水まきのボランティアを募り、全校生徒に環境保全の大切さを呼びかけています。多くの生徒が、高い関心と志をもって活動に参加しています。これからも、生徒会本部が中心となって、台中生が地域の方々とつながり、ともに環境美化と地球にやさしい生活をめざす活動を模索していきたいと思えます。

■発表を終えての感想

今回の発表会に参加するにあたり、改めて本校の取り組みを振り返り、エコ活動に対してより高い意識を持つことができました。また、浜須賀中学校の発表を聞き、ビオトープ等、本校にはないエコへの取り組みを知ることができて、よい刺激となりました。発表を終えて、自分たちの活動の意義や他校の取り組みについて、さらに全校生徒に発信する方法を練っているところです。生徒一人ひとりの意識が少しずつ変わり、自ら行動に移せる台中生となるためのきっかけとなり、感謝しています。(記事提供:大嶺 愛)

未来につながる！環境にやさしいまち ちがさき環境フェア2015

写真集

日時:平成 27 年 9 月 20 日(日)10:00~16:00
場所:市役所分庁舎 5・6 階、本庁舎 7 階、中央公園

分庁舎 6 階コミュニティホール



環境政策課「ちがさきエコネット」紹介



おもいの樹・景品交換所



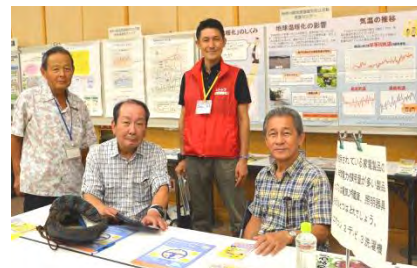
かながわ環境カウンセラー協議会



県下水道公社



スクールエコアクション発表をされた 2 中学校の生徒と副市長・教育長



県温暖化防止活動推進員



㈱やまなか園建設



イオンリテール(株)イオン茅ヶ崎店



日本大学環境教育ボランティア会
～キララ～



まなびの市民講師



環境市民会議「ちがさきエコワーク」



環境学習部会「環境かるた」



清水谷を愛する会



茅ヶ崎市商店会連合会

分庁舎 5 階・本庁舎 7 階



駒寄川水と緑と風の会



「池の中の外来種を取り除こう！」



おもしろ環境教室
「燃料電池ってなんだろう？」



講演会
「夢の水素エネルギー社会へ！
～ライフスタイルはどう変わる？」

中央公園



電気・燃料電池自動車試乗同乗会



各メーカーのエコカー展示



梅田小による FKP (古本回収プロジェクト)

私たちは梅田小学校の 6 年生です。
私たちは、市民の方から要らなくなった本を出していただいて、読みたい人に再利用いただくために古本回収を行いました。
その結果 427 冊もの本を回収できました。ありがとうございました。



中央公園総合案内所



エコステージ(茅ヶ崎湘南マリナバトン)



ソーラークッキング(REN)



ネイチャーゲーム



エコ・マルシェ(ロコキッチン)



茅ヶ崎海辺の朝市会

「ちがさき環境フェア2015」に参加して

～環境フェア参加団体様からの参加感想及び環境への取り組みの紹介～

□ 東京ガス(株)神奈川西支店

平素より弊社の事業活動に対しご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

また今年度も「ちがさき環境フェア 2015」に出展させていただき、弊社の環境への取り組みを市民の方々へPRすることができましたことを重ねて御礼申し上げます。

私ども、東京ガスは、環境への取組みとして「環境配慮物品」である家庭用燃料電池「エネファーム」を環境フェアで展示することで、その環境優位性を広く市民の方々に知っていただくことを主眼に出展させていただきました。当日は環境クイズとしてエネファームの問題を出題して子供さんにもわかりやすくエネファームのしくみを知っていただくことができました。また燃料電池について学ぶ、小学4年生以上の児童・生徒を対象とした「おもしろ環境教室」も併せて開催。スクールエコアクションに参加された鶴が台中学校の生徒さんたちも参加し、小学生と一緒に燃料電池実験を体験されるなど、大盛況でした。

このように次世代エネルギーとして注目される「水素」を利用した燃料電池・エネファームを広く市民に訴求して茅ヶ崎市の環境政策に少しでも貢献できるよう今後もがんばる所存です。自分も茅ヶ崎市を担当させていただき早や6年目、エコワークの皆様にはいつもお世話になっております。

今後ご指導ご鞭撻をいただきますよう何卒よろしくお願ひ申し上げます。(深沢 亮一)



東京ガスの展示ブース
環境クイズに答える子どもたち

□ SITA(エコマルシェ)

この度は環境フェア 2015 に出店させて頂き誠にありがとうございます。

当店は 2012 年に開業いたしまして、今年で 4 年目となっております。

いろいろなイベントに出店しているのですが、毎回使い捨て容器を使用しておりごみ問題が深刻となっております。ところが地元茅ヶ崎でこの環境フェアと出会いリユース食器での提供をさせていただいてとてもいい取り組みだなと感じました。

出店者も購入者もお互いエコを意識できますし、実際容器のごみは減る。この意識をすところから始めることに意味があるのだなと、このイベントを通じて感じました。

最近は飲食店やスーパーやインターネット販売の過剰梱包が問題視されていますが、双方が意識すれば少しずつ改善されていくのではないかと思います。とても考えさせられたイベントでした。

これからも地域、人、お店を通じて茅ヶ崎から良くしていけたらと思いますのでよろしくお願ひいたします。

(湯舟 達也)



□ 桂川・相模川流域協議会

早朝から、平塚市、寒川町、茅ヶ崎市の運営委員が集まり、展示物の設置をし、「相模川検定試験」の準備をして、お客さんが大勢来た時の心配しながら待っていたのですが、今年はスタンプラリーに参加できなかったため、集まり方が寂しい状況でした。来年は、スタンプラリーに参加して、多くの市民に参加してほしいと思いました。

最近では、少しずつ、環境を意識しているいろいろなことに目を向ける若い人たちが、増えてきているように感じます。今年に年齢に合わせた「相模川検定試験」を用意したら、小さな子も参加しやすくなり、若い家族連れが、私たちが話す川の説明を聞きながら答えを記入していました。「相模川検定試験」のほか、外来種のシナダレスズメガヤを除去してカワラノギクの河原にと頑張っている方々の話をもっとしたかったのですが、小さな子を待たせてたくさんのお話ができず、残念でした。

アメリカザリガニの本を用意したので、親子連れに説明をして渡しました。飼っている生き物は最後まで飼ってほしいです。山の森から川に海につながっている自然の恵みを大切に出来るのは、特別な人ではなく、普通に生活している環境フェアを楽しんでいるような人々と感じました。

市民、企業、行政が知恵を出し合い、力を寄せ合い今一歩進めば、今よりもっと良いちがさきになると思いました。

(藏前かづえ)



□ 生活協同組合ユーコープ茅ヶ崎市・寒川町エリア会

牛乳パックを使って、ぶんぶんゴマやブーメラン、風車を作るという企画を行いました。

どれも簡単に作れる物ですが、子どもたちの目を惹いたのはぶんぶんゴマでした。全て 50 個ずつ用意しましたが、ぶんぶんゴマは午後早めの時間に終了するほどの人気で、小さな子どもから大人までぶんぶん回して楽しんでいました。また、ぶんぶんゴマは、左右対称でないと上手く回らないということから、キリで穴を開ける位置に苦労し、近くのブースにいらした男性に助けて頂いたり、よく回るアイデアを教えて頂いたり、イベントスタッフとしても楽しい 1 日を過ごすことが出来ました。

また、中学生の発表が非常に良く出来ており、学校単位で行っているエコ活動を垣間見ることが出来ました。せっかく立派な活動をしているので、もう少しギャラリーを増やしてあげたいと思いました。

会場レイアウトについてですが、作業するテーブルとユーコープで行っているエコ活動を紹介するパネルが遠く、連携して紹介することが難しかったようです。今後はレイアウトを検討して頂きたいです。

(荒川 篤子)



梅田小学校運営委員の児童たちから 「古本回収プロジェクト」の売上金を市に寄付

9月20日に実施された「ちがさき環境フェア2015」において、梅田小学校の運営委員の児童たちによる「古本回収プロジェクト(FKP)ー未来へつなごうー」が行われた。中央公園の環境フェア会場内に梅田小学校のブースを設営し、児童たちが市民から不要になった本を一人ひとり接客対応しながら受け取って回収し、この本の再利用を図るため、古本の買取り業者に引き取ってもらうという体験プロジェクトである。

このプロジェクトは、環境フェア企画実行委員会と梅田小学校6年生の運営委員及びブックオフコーポレーション(株)の相互協力による今回はじめての試みであったが、児童たちは、市民へのお知らせのためのポスターやチラシづくりなど、事前準備から当日の本の引き取り作業までを自分たちで行なった。その成果として、427冊の古本が回収でき、6,730円の売却収益を上げることができたとのこと。この体験を通じて、児童たちは自らリユースの仕組みを学び、資源循環の大切さを理解することができたようである。

このたび、梅田小学校から今回の古本売却収益金全額を茅ヶ崎市に寄付したいとの申し出があり、10月15日に同校の運営委員10名と担当の先生が市役所を訪問、服部市長に寄付金が贈呈された。

これに対して、服部市長から感謝のお礼と「これからも皆さんのチャレンジに期待します」と激励の言葉が述べられた。

なお、寄付金は「太陽光発電設備普及啓発基金」と「緑のまちづくり基金」に充当される。



寄付金贈呈式後の記念写真

環境イベントのお知らせ

「環境市民講座」

■環境保全型農業とエコな調理実習

日時:12月1日(火)13:30~16:30 (13:15に市役所分庁舎前集合)

場所:萩園ファーム21及び鶴嶺公民館(マイクロバスで移動)

内容:萩園ファームで野菜の収穫、公民館で収穫野菜を使ったスパゲッティづくりと試食

萩園ファーム21代表高橋氏と農業水産課職員の話聞く

申込:11月2日(月)~11月20日(金) 参加費無料

問合せ:環境政策課(82-1111)

■地球温暖化防止セミナー

日時:12月12日(土)13:30~16:30

場所:茅ヶ崎市勤労市民会館A研修室

内容:第1部 講座「地球温暖化の現状と温暖化防止対策について」(映像と解説)

第2部 ワークショップ「ちがさきエコネットの紹介と家庭での省エネ」

申込:11月16日(月)~12月7日(月)参加費無料 環境政策課温暖化対策担当 82-1111)

編集 後記

ちがさき環境フェア2015は晴天に恵まれ、様々なイベントが関係者の協力の下、無事終了した。

新たな試みである小学生による古本回収、寸劇やクイズを交えて楽しい発表となった中学生のスクールエコアクション、親子が笑顔でいっしょに取り組んだ体験コーナー、白鳥監督が地球の蘇生を願って制作したドキュメンタリー映画「蘇生」や未来のエネルギーと期待される「水素エネルギー」についての講演など、内容の充実した環境フェアであった。未来へつながる環境にやさしいまちづくりが、多くの市民の力でさらに進むことを願いたい。(M.O)